

○「都市農村共生・対流総合対策交付金」費用対効果算定項目(案)

	観光活用に係る効果							教育活用に係る効果			定住・集住等環境整備に係る効果			地域産業の拡大効果					維持管理費等の節減効果						
	農林水産物販売促進効果	農林水産物流通・販売経費節減効果	農山漁村文化理解醸成効果	コミュニケーション促進効果	地域資源加工効果	食文化継承効果	地域農林漁業等波及効果	農林水産物普及促進効果	農林漁業理解醸成効果	農林漁業技術継承効果	地域農林漁業等波及効果	定住促進効果	集住促進効果	生活環境向上効果		鳥獣被害防止効果	就業機会増加効果	農林漁業生産の向上効果			地域材需要拡大効果		地域関連産業波及効果		
														簡易給水施設に係る効果	簡易排水施設に係る効果			農業生産向上効果		林業生産向上効果	漁業生産向上効果	住宅における地域材需要拡大効果		公共施設における地域材需要拡大効果	
観光活用施設	農林水産物処理加工施設		○			◎												◎	△	△	△		△	△	◎
	農林水産物集出荷貯蔵施設		◎															◎	△	△	△		△		◎
	農林水産物直売施設	◎	◎															◎	△	△	△		△	△	◎
	販売戦略(IT関連)施設		◎																△	△	△		△	△	◎
	農家レストラン	△	△	○			◎											◎	△	△	△		△	△	◎
	交流促進施設			○	◎													◎					△	△	◎
	共同観光農園	◎		◎				△										◎	△	△	△		△	△	◎
	宿泊体験活動受入拠点施設	○		◎														◎	△	△	△	△		△	◎
	農家民宿	○		◎														◎	△	△	△	△		△	◎
教育活用施設	体験学習農園								◎		△							◎	△	△	△		△		◎
	市民農園								◎		△							◎	△	△	△		△		◎
	農林水産物加工体験施設							○		◎	△							◎	△	△	△		△		◎
	地域資源活用技術習得実習施設							○		◎	△							◎	△	△	△		△		◎
定住等住環境集	冬期集住施設												◎					◎					△		◎
	移住・定住促進等施設											◎						◎					△		◎
	鳥獣被害対策施設															◎							△		◎
附帯整	簡易な基盤整備																		◎						◎
	生活環境整備(簡易給排水施設)													◎	◎										◎

注1)「◎」は主な効果算定項目、「○」は直接的な効果として算定が可能な項目。「△」は間接的な効果として算定が可能な項目。

注2)「維持管理費節減効果」は、主にマイナス効果である。

注3)空欄の効果についても算定可能な場合がある。例えば、冬期集住施設を夏期に都市住民の宿泊体験活動受入施設として利用する場合、農山漁村文化理解醸成効果の算定が可能である。